

特定非営利活動法人シーデクセマ評議会
制度改正と CEDXM 連携の実態把握アンケート報告（抜粋版）

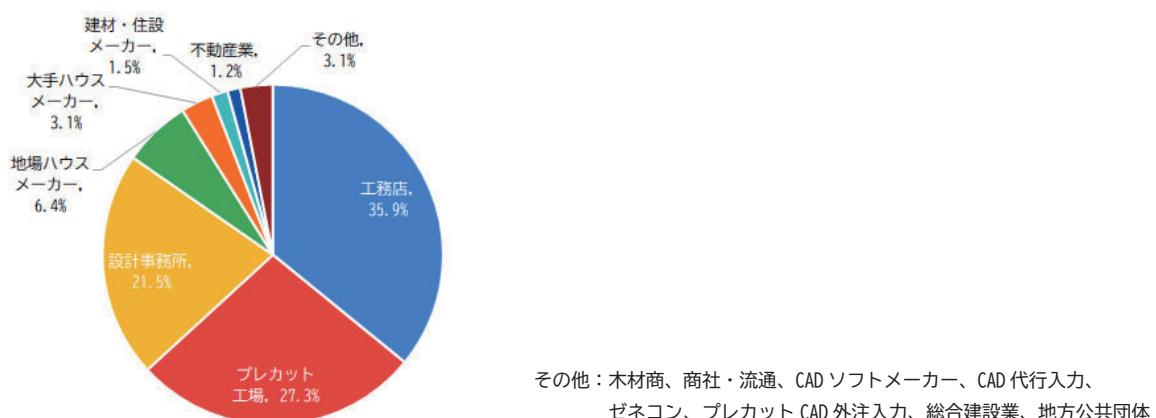
2025年7月～8月にかけて、シーデクセマ評議会では一般社団法人JBN・全国工務店協会および一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会、一般社団法人耐震性能見える化協会、福井コンピューターアーキテクト株式会社、宮川工機株式会社等会員企業のご協力のもと、「制度改正後の実務変化およびCEDXM連携の現状」に関するアンケートを実施いたしました。

本調査は、4号特例縮小後の設計・施工・プレカット実務における課題や、デジタルデータ連携（CEDXM）の活用状況を把握し、今後の業界全体の生産性向上に資することを目的としています。

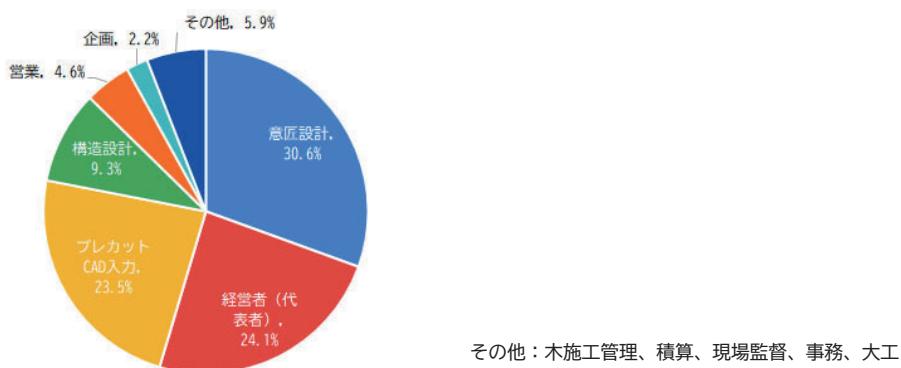
対象はプレカット業務に関わる方（営業、CAD入力、管理職、設計支援担当など）、建築確認申請や設計業務に関与する建築士、設計事務所、工務店、住宅メーカーなど木造建築に関わる全ての方々です。

A. 回答者属性

Q 1. 貴社の中心となる業種を選択してください。

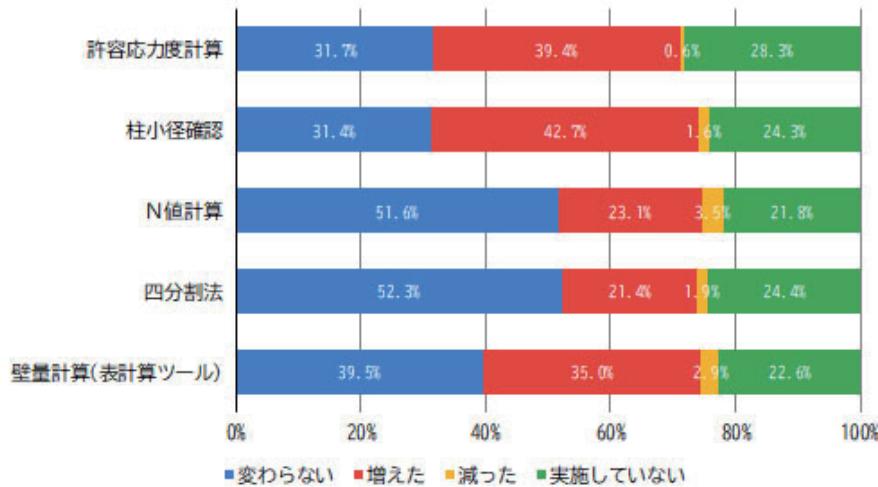


Q 2. 貴社・貴部署で主に関わる業態を教えてください。



B. 4号特例縮小による実務の変化について

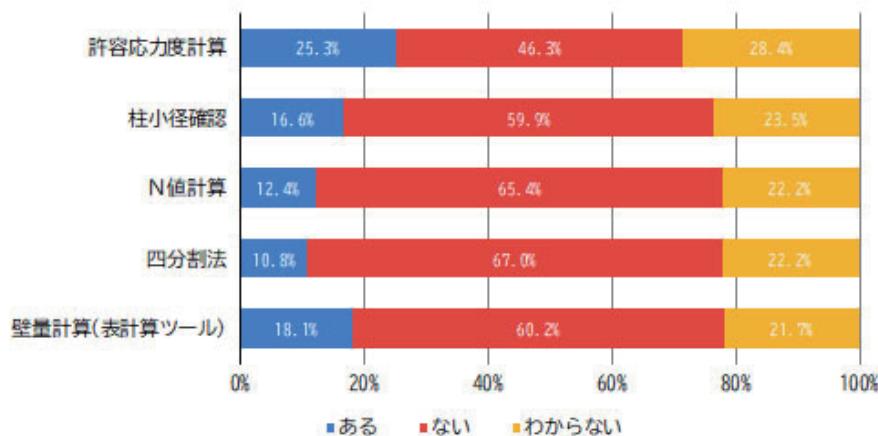
Q 3. 制度改正後、次の業務負荷（壁量計算、四分割法、N値計算、柱小径確認、許容応力度計算）はどのように変化しましたか？



- 全般的に「増えた」との回答が多数
- 簡易的な計算（N値、四分割法）は半数が変わらないと回答
- 許容応力度計算、柱小径、壁量計算は40%近くが増えたと回答

Q 4. 次の業務について、審査機関から質疑・指摘を受けたことがありますか？

- 許容応力度計算は1/4が指摘を受けたと回答（最多）
- 指摘の割合はQ3の業務負荷と似通っている



►業態ごとのクロス集計の結果は「詳細報告 付録（P48）」をご参照ください。

Q 5 (Q 4で「ある」と答えた方) どのような指摘事項でしたか？（自由記述）

＜業態ごとの傾向＞

業態	主な指摘内容
設計事務所	図面と計算書の整合性、構造モデルの誤り、金物耐力や柱小径の検討、火打ち梁省略可否、入力根拠の不備など
工務店	耐力壁面材・N値・地耐力・梁成など構造検討の指摘が増加 構造図や計算書の不一致が多数 金物性能の根拠
地場ハウスメーカー	吹抜け・制震ダンパー・床構面など詳細な構造確認 アプリの数値の誤差、差異の指摘 金物性能の根拠 図面、計算書の不整合
大手ハウスメーカー	柱小径の確認 N値設定漏れなどソフト設定ミスに関する質疑 数値の誤差の指摘
プレカット工場	許容応力度計算や金物性能の根拠、意匠図との整合性 審査機関ごとの指摘内容のばらつき 数値の誤差の指摘 計算方法の確認
その他（建材メーカー等）	認定書提出、Excelツールでの申請指摘など
各業態共通	計算結果の確認、データの根拠、図面と計算書の不整合、審査機関による差異

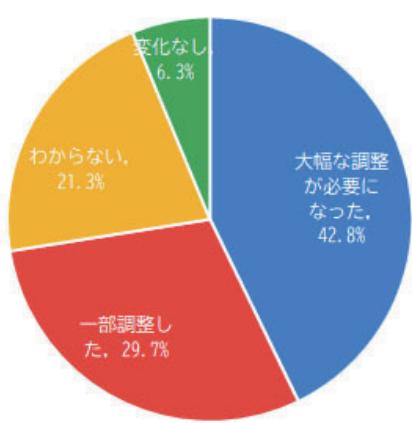
▶すべての自由記述の内容は「詳細報告 3. (P5)」をご参照ください。

Q 6. 審査機関からの質疑や指摘は制度改正前と比べてどのような変化がありましたか？（自由記述）

- 「増えた」「細かくなった」との回答が圧倒的多数
- 行政や審査機関の判断がバラつき、「二度手間」「時間がかかる」との声が多い
- 「質疑が多すぎて1回目補正に時間がかかる」「以前では言わなかった部分の指摘が出る」との指摘あり
- 構造計算経験者からは「以前から許容応力度計算をしていたため大きな変化はない」という意見もある
- 総じて「指摘数の増加」「審査期間の長期化」「審査側の混乱」が共通認識としてあがる

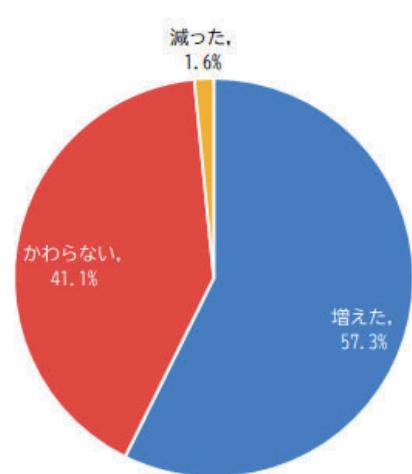
▶すべての自由記述の内容は「詳細報告 3. (P8)」をご参照ください。

Q 7. 審査の所要時間や質疑の影響で、スケジュール調整が必要になりましたか？



- 「スケジュール調整が必要になった」という回答が多く、プレカット工場では「上棟日程変更でプレカット加工の計画が立てられない」といった具体的な影響が普数回答されている

Q 8. 業務負荷の変化はありましたか？



- 「増えた」が圧倒的多数
- 主な増加要因として、書類および図面作成の増加、省エネ関連業務（外皮計算等）、審査機関対応、補正作業の増加、社内調整、説明業務の増加があげられている

C. 今後に向けた課題・支援・ニーズ

Q 9. 制度対応のために強化・補充した部門・体制（自由記述）

業態	主な内容
設計事務所	構造部門の増員、構造計算の外注、構造計算ソフトの導入、他
工務店	構造計算担当者・申請担当者の教育・強化、外注依頼の増加、他
プレカット工場	構造計算担当者の増員、内外に向けた構造計算講習会の実施、設計サポート部門の設立、他
各業態共通	採用難、人材不足、教育不足、他

D. CEDXM 連携に関するニーズ

Q10. 意匠 CAD およびプレカット CAD に連携してほしい情報（自由記述）

プレカット CAD → 建築意匠 CAD
金物の位置、下地材、開口寸法、土台情報、間柱の位置、許容応力度計算との連携、設備の連携、他
建築意匠 CAD → プレカット CAD
金物の位置、伏図、基礎伏図、間取り情報、配管スペース、屋根や建具の入力の統一、木材情報、他

Q11. シーデクセマ評議会に期待すること（自由記述）

- CAD のズレや文字化けのない連携
- BIM 連携の整備
- 誰でも使える仕組み
- 変換効率の向上

など

▶すべての内容は「詳細報告」からご覧いただけます。